

目標未達成となった主な債権とその要因

資料1 参考資料2

(単位：千円)

所管局	債権名	令和元年度末 (見込) ①	平成30年度末 ②	圧縮額 ①－②	令和元年度 目標③	目標との差額 ①－③	主な要因
財政局	市税	3, 214, 616	2, 629, 503	585, 113	2, 600, 000	614, 616	新型コロナウイルス感染症の影響による市民の納税環境の著しい悪化等により4、5月の徴収率が低下したため。 (参考：4億円余の影響)
健康福祉局	国民健康保険料	4, 728, 502	4, 819, 496	△ 90, 993	4, 515, 716	212, 786	4、5月に徴収する部分の徴収率が低下。新型コロナウイルス感染症の影響が考えられる。
健康福祉局	介護給付金不正 利得等返還金 (不正請求)	22, 752	160, 248	△ 137, 496	9, 098	13, 654	当債権は、事業者が不正に得た介護報酬の返還を求めるものであるが、見込み以上に事業者の不正受給が発覚し新たな未収金が発生したため。
子ども 青少年局	民間保育所徴収 金	84, 077	105, 008	△ 20, 931	62, 435	21, 642	待機児童対策のための入所定員増等による調定額の増加が見込みを上回ったため。
交通局	事故発生に伴う 費用	21, 434	21, 434	0	0	21, 434	地下鉄駅施設の工事に伴う事故の損害賠償請求事件の裁判が係争中のため。
病院局	市立病院診療費 (自己負担分)	142, 178	121, 534	20, 644	97, 820	44, 358	年度末付近での高額滞納者の発生と、新型コロナウイルス感染症による外出自粛に伴う来院時の催告機会の減少等のため。

※目標に対して1,000万円以上及ばなかった債権を抽出。